

長崎水害緊急ダム事業(本河内ダム)

～洪水被害の軽減及び水資源の確保～

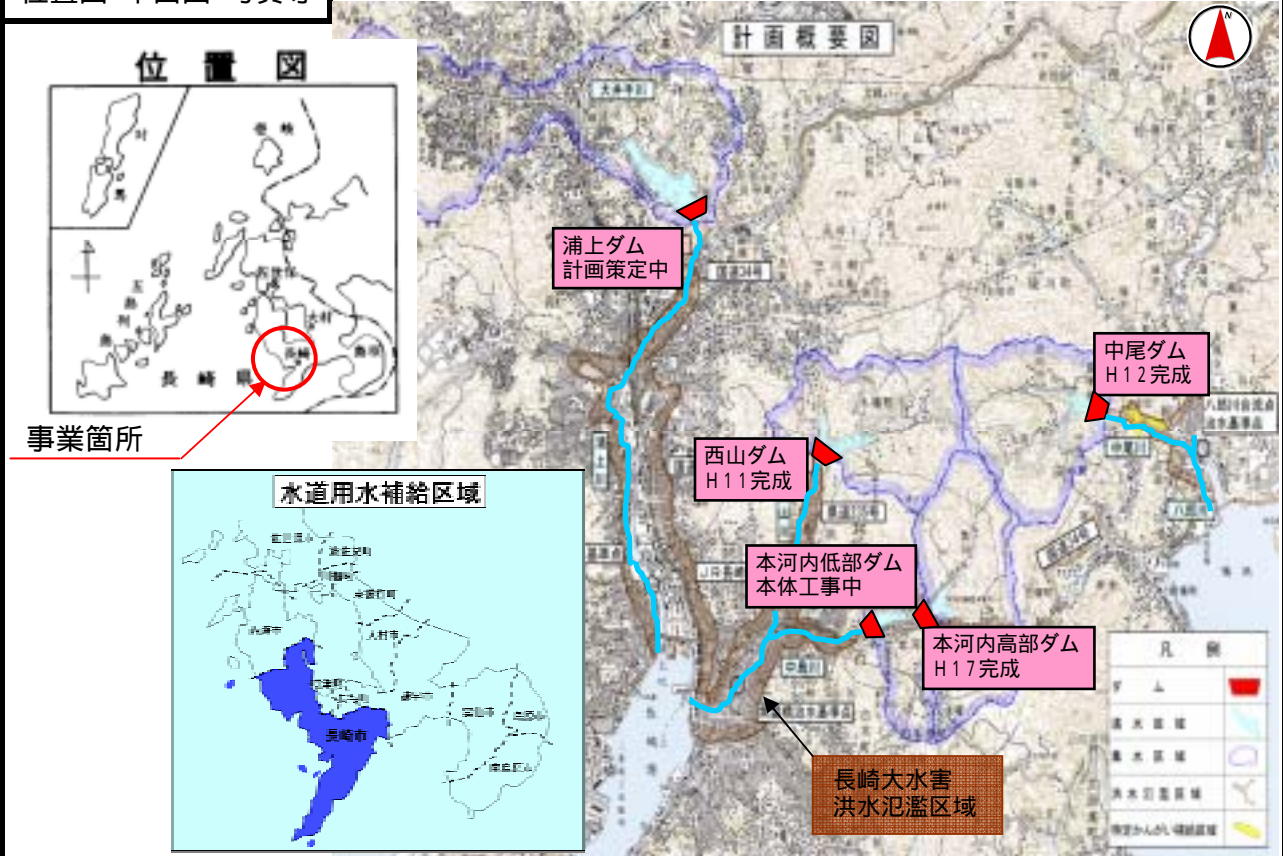
1. 事業概要

昭和57年の長崎大水害において、激甚な氾濫被害を起こした中島川及び浦上川の抜本的な治水対策として、長崎市の水道専用ダムであった西山ダム・本河内高部ダム・本河内低部ダムと浦上ダムを治水機能を有するダムに改築する。また、水道専用ダムの治水化に伴い、減少する利水容量の確保と中尾川の治水対策を目的に、新たに中尾ダムを建設する。

本河内高部ダムについては完了。現在、本河内低部ダムが本体工事中であり、平成23年度完了見込み。

場所	長崎市	諸元	西山ダム 堤高 40m 堤頂長 216m 中尾ダム 堤高 40m 堤頂長 201m 本河内高部ダム 堤高28.2m 堤頂長 180m 本河内低部ダム 堤高27.8m 堤頂長 118.8m 浦上ダム(未定) 堤高 21m 堤頂長 90m 全て重力式コンクリートダム	事業費	22年度	15.65億円
事業着手	昭和58年度	完成予定	平成23年度 (平成28年度)	(全体)	149.7億円 (775億円)	

位置図・平面図・写真等



2. 整備効果

- ・洪水被害の軽減。
- ・流水の正常な機能の維持。
- ・新たな水源として長崎市に日量1,400m3の水道用水を供給。

3. 平成22年度の事業内容

(本河内低部ダム)ダム本体工事